

INDEX

1. イベント開催報告

- ・学生FDサミット2018春
- ・第10回FDミーティング
- ・第2回法政大学スーパーグローバル大学創成支援事業・第14回FD合同シンポジウム
- ・現代福祉学部 well-being研究会におけるFD推進センター長の講演
- ・2017年度「第10回FD学生の声コンクール」・「学生が選ぶベストティーチャー賞」授賞式・表彰式・祝賀会

2. 『法政大学教育研究』第10号投稿論文募集



発行：
法政大学
教育開発支援機構
FD推進センター

ホームページ
<http://www.hoseiyoiku.jp/fd/>

お問い合わせ先
学務部教育支援課
03-3264-4268
kyoiku@hosei.ac.jp

イベント開催報告

学生FDサミット2018春

2018年3月8日(木)～9日(金)、市ヶ谷キャンパスにて、「みんなで創る学生FDサミット」をテーマに、「学生FDサミット2018春」を開催しました。全国から約60大学300人の参加がありました。

はじめに、田中優子総長より開会の挨拶、京都大学大学院教育学研究科准教授の服部憲児氏より「学生FD活動に期待すること—さらなる輝きのための「仕掛け」創り—」をテーマとした基調講演がありました。その後、参加者は分科会・ポスターセッション・情報交換会・しゃべり場に参加し、各大学での取り組みや課題に関する情報交換を行い、交流を深めました。参加者から「様々な大学の活動と取り組みに対する熱意を知ることができ、とても励みになった」「自大学での活動の改善点等を見つけた」「自分の大学にいては感じることができないことを感じた」等の声が寄せられるなど、満足度の高いアンケート結果でした。

※学生FDサミットとは、全国の大学から学生FD活動に取り組む学生・教員・職員が一堂に会し、各大学における活動や成果を発表し合い、大学教育における課題等を共有し、議論する場です。今回のサミットは本学学生FDスタッフによる企画・実施にて開催しました。



2017年度「第10回FD学生の声コンクール」・「学生が選ぶベストティーチャー賞」授賞式・表彰式・祝賀会

2017年度「第10回FD学生の声コンクール」授賞式・「学生が選ぶベストティーチャー賞」表彰式および祝賀会は、2017年12月25日(月)、市ヶ谷キャンパスで開催しました。

当日は、デジタルコンテンツ・コンテストの授賞式とも一緒に行われ、華やかなものとなりました。授賞式では、「学生の声コンクール」最優秀賞受賞者によるスピーチが行われ、祝賀会では「学生が選ぶベストティーチャー賞」受賞教員の受賞コメントをいただきました。学生と教員の相互の思いが伝わる貴重な機会となりました。

写真は授賞式・表彰式の様子です。



現代福祉学部well-being研究会におけるFD推進センター長の講演

2017年12月13日(水)、現代福祉学部のWell-being研究会にて竹口圭輔FD推進センター長による講演会を開催しました。

教授会構成メンバーを対象に、①FDの基本的な考え方(なんのために、どのように、行うのか)、②個々の教員ができるFD(特に100分授業の対応等)、③アクティブ・ラーニングの方法といった内容が中心でした。講演会では100分授業をきっかけとした授業改善に関するヒントや各種ツールの紹介をした後、昨年11月より全学展開しているアクティブ・ラーニング・セットを用いて、参加者によるワークショップも実施しました。

ワークショップを通じて、授業での工夫等を共有することができ、参加者から好評をいただきました。また、Jimonシステムやプレゼン相互評価システム(PEAS)といったサポートツールについても多くの関心が寄せられました。

新学年暦への移行

- 改訂の概要
 - 100分授業化による時間制の変更
 - 夏季休業期間の長期化
 - 休校日の授業実施を軽減
 - サマーオースタム/スプリングセッションの導入
- 改訂の理由
 - 単位の実質化(1 semester=1,350時間超の授業時間確保)
 - 学生のモビリティを推進
 - 月曜日に代表される休校日の授業実施を軽減
 - 柔軟な授業展開を可能とする学年暦の実現

授業改善のヒント 100分授業対応

- +10分の活用
 - 「小テスト」の実施、「ミニツブバー」の活用
 - 「大福帳」を用いたコミュニケーション
 - 学生による問題作成
 - 「ピアレビュー」
- 100分だからこそできる授業
 - グループ・ディスカッション
 - 学生によるプレゼンや教え合い

PEAS

PEASは、プレゼンテーションの質を客観的に評価するためのシステムです。グラフは、評価項目ごとのスコア変動を示し、下部には具体的な評価項目とそのスコアがリストアップされています。

アクティブラーニング・セット

アクティブラーニング・セットは、授業中の学生参加を促進するためのツールキットです。ホワイトボード、マーカー、付箋などが含まれており、グループワークやディスカッションに活用できます。

Jimonシステム

Jimonシステムは、授業資料の配布と回収を効率化するシステムです。システム画面と、実際の授業現場での使用イメージが示されています。

Turnitin

Turnitinは、論文の著作権侵害を防止するためのシステムです。画面には、提出された論文の類似率(54%)と、類似箇所がリストアップされています。

第2回法政大学スーパーグローバル大学創成支援事業・第14回FD合同シンポジウム

2017年12月2日(土)、市ヶ谷キャンパスにて、「大学の持続可能な成長は可能か? ~大学教員の専門職としての学習を軸に~」をテーマに、第2回法政大学スーパーグローバル大学創成支援事業・第14回FD合同シンポジウムを開催し、67名の参加がありました。

第一部の記念講演では、本学と連携関係にもあるロンドン大学バークベック校(Birkbeck, University of London)から、高度専門職の育成・学習が専門のMiriam Zukas氏を講師にお招きし、イギリスにおける大学界の経験をもとに、現下の大学と大学教員で、いかにしてレジリエントで持続可能な成長が可能かについて、ご講演いただきました。

第二部のパネルディスカッションでは、次の3名よりお話いただきました。

- ・「法政大学におけるFDの取り組み」 竹口圭輔氏(FD推進センター長、経済学部教授)
- ・「法政大学におけるSDの取り組み」 近藤清之氏(常務理事)
- ・「質保証における学生参画の可能性」 川上忠重氏(大学評価室長、FD推進センター学生FD担当、理工学部教授)

第10回 FDミーティング

2017年11月10日(金)、市ヶ谷キャンパスにて、「LGBTsについてはじめの一歩 ートランスジェンダーの学生と向き合うためにー」と題して、第10回FDミーティングを開催しました。法政大学学生センター学生相談室精神科医師・臨床心理士の櫻小路岳文氏を講師にお招きし、教職員41名が参加しました。

櫻小路岳文氏は、児童思春期から青年期への心の発達課題やLGBTに関する基本知識をはじめ、大学で性別が問われる様々な場面における想定される状況をもとに、実際の対応での注意点等について大変分かりやすくご講演くださいました。

参加者からは「大変有益なお話を聞きすることができ、とても勉強になった」「業務はもちろん、日常生活でも役立つ情報を得ることができた」「LGBTs学生に対応することもありどのような意識で接するべきか、常に迷いがあつたが、迷いを持ちながら一緒に考えていけばよいのかなと少し霧が晴れた心地である」等、好評でした。

『法政大学教育研究』第10号(紀要)投稿論文を募集

本学の教育に関する論考やFD活動報告等の業績化をはかるため、また、書評論文、書評・紹介等による一般的教育工夫事例等を広め啓蒙するために、FD推進センターでは、毎年『法政大学教育研究』を発行しています。『法政大学教育研究』第10号の掲載論文等の募集締切は2018年10月5日(金)となります(必着・郵送は当日消印有効)。詳細は投稿要領(ホームページ)をご覧ください。

